

## | 報道発表資料 |

令和7年(2025年)11月10日

報道機関各位

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学  
横須賀市教育委員会  
味の素株式会社横須賀市児童生徒体力向上・健康増進に係る産学官連携協定  
公開成果報告会 2025

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学及び横須賀市教育委員会は、令和6年(2024年)4月1日に、横須賀市立小・中学校児童生徒の健康・体力、生活習慣に関する調査研究を行い、子どもの健康や体力に関する課題解決を継続的に図るため、味の素株式会社と連携協定を締結しました。

この連携により、調査結果を継続的、経年的に分析し、その分析結果から各学校に課題を提示することにより、横須賀市児童生徒の体力向上・健康増進・良好な発育発達に貢献すること、また、味の素株式会社で行っている食育事業を組み合わせることにより、横須賀市児童生徒の更なる健康増進を期待し、進めています。

このたび、この連携の成果を広く皆様にお伝えするため、令和6年度(2024年度)の調査結果を中心に公開成果報告会を実施しますので、お知らせします。

## 1 開催概要

主 催：神奈川県立保健福祉大学、横須賀市教育委員会、味の素株式会社  
開催日時：令和7年(2025年)12月13日(土曜日) 13時00分～15時30分  
会 場：神奈川県立保健福祉大学 講堂(横須賀市平成町1-10-1)  
参 加 者：本連携協定関係者および地域住民(参加無料)

## 2 次第

- (1) 主催者挨拶 神奈川県立保健福祉大学 学長 村上 明美
- (2) 主催者挨拶 横須賀市教育委員会 教育長 新倉 聡
- (3) 来賓挨拶 横須賀市長 上地 克明 様
- (4) 連携協定について 横須賀市教育委員会保健体育課 指導主事 福地 真一
- (5) 神奈川県立保健福祉大学による成果発表
  - ① 研究の概要説明：大学院 保健福祉学研究科長 鈴木 志保子
  - ② 体力と生活習慣との関係：大学院 保健福祉学研究科長 鈴木 志保子

③ 睡眠と生活習慣との関係：

実践教育センター専任教員 兼 保健福祉学部 講師 中西 朋子

④ 「お口ぽかん（口唇閉鎖不全）」の現状と課題：

大学院 ヘルスイノベーション研究科 講師 久保田 悠

⑤ 「5 基本味体験キット」を用いた「味覚」の認識に関する現状：

実践教育センター 専任教員 兼 保健福祉学部 講師 中西 朋子

(6) 今後の進め方 大学院 保健福祉学研究科長 鈴木 志保子

(7) 主催者総括

味の素株式会社 執行理事 グローバルコミュニケーション部長 小笠原 和子

(8) 閉会の挨拶

## 問合せ先

---

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学

事務局 企画・地域貢献部 鳴島 電話 046-828-2530

横須賀市教育委員会事務局

学校教育部保健体育課 小田 電話 046-822-8485

味の素株式会社

グローバルコミュニケーション部 稲村 電話 080-2560-4773



横須賀市児童生徒体力向上・健康増進に係る産学官連携協定

# 公開成果報告会2025

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学及び横須賀市教育委員会は、2024年4月1日に横須賀市立小・中学校児童生徒の健康・体力、生活習慣に関する調査研究を行い、子どもの健康や体力に関する課題解決を継続的に図るため、味の素株式会社と連携協定を締結しました。

この連携により、調査結果を継続的、経年的に分析し、横須賀市児童生徒の体力向上・健康増進・良好な発育発達に貢献すること、また、味の素株式会社で行っている食育事業を組み合わせることにより、横須賀市児童生徒の更なる健康増進を期待し、進めています。

このたび、2024年度の調査結果を中心に、公開成果報告会を実施いたします。

みなさまのご参加をお待ちしております。

---

主催：神奈川県立保健福祉大学、横須賀市教育委員会、味の素株式会社

開催日時：2025年12月13日(土)13時～15時30分

会場：公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 講堂

参加者：本連携協定関係者および地域住民（参加無料）

---

1. 主催者挨拶 神奈川県立保健福祉大学 学長 村上 明美
2. 主催者挨拶 横須賀市教育委員会 教育長 新倉 聡
3. 来賓挨拶 横須賀市長 上地 克明様
4. 連携協定について 横須賀市教育委員会保健体育課 指導主事 福地 真一
5. 神奈川県立保健福祉大学による成果発表
  - ① 研究の概要説明：大学院 保健福祉学研究科長 鈴木 志保子
  - ② 体力と生活習慣との関係：大学院 保健福祉学研究科長 鈴木 志保子
  - ③ 睡眠と生活習慣との関係：  
実践教育センター 専任教員 保健福祉学部 講師 中西 朋子
  - ④ 「お口ばかん（口唇閉鎖不全）」の現状と課題：  
大学院 ヘルスイノベーション研究科 講師 久保田 悠
  - ⑤ 「5基本味体験キット」を用いた「味覚」の認識に関する現状：  
実践教育センター 専任教員 保健福祉学部 講師 中西 朋子
6. 今後の進め方 大学院 保健福祉学研究科長 鈴木 志保子
7. 主催者総括 味の素株式会社 執行理事 グローバルコミュニケーション部長 小笠原和子
8. 閉会の挨拶